

大久保農場 「学びの窓Ⅲ」



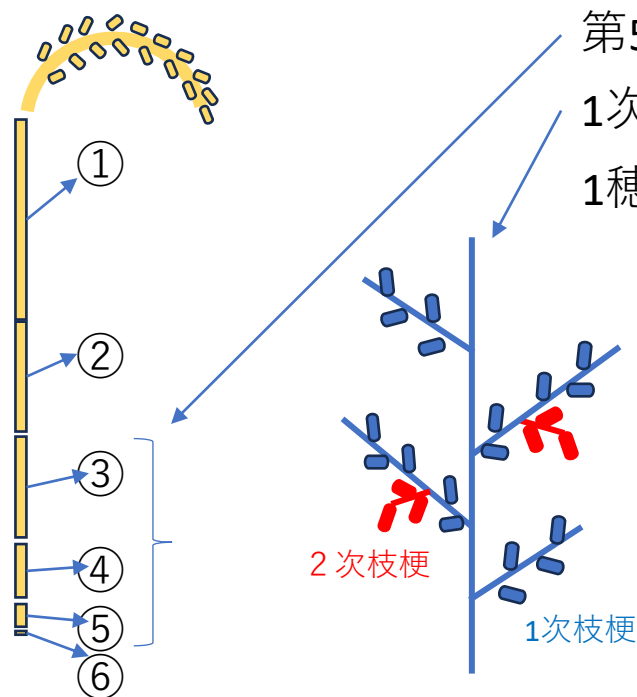
2023年10月～12月

1 水稻の収量 アドニスvsけやき有機<分解調査で分かること>

	穂長	節間長						稈長	1次枝梗数	2次枝梗数	1穂 粃数	1穂 粃重
		1	2	3	4	5	6					
アドニス	16.0	32.2	17.7	15.7	7.9	3.4	0.5	77.5	8.7	9.3	74.9	1.5
けやき有機	14.4	31.2	17.7	10.4	6.8	2.9	0.5	69.6	7.6	5.7	53.5	1.1

	株/㎡	穂数/株	粃数/穂	登熟歩合	千粒重	玄米水分	推定収量 kg/10a	実収量 kg/10a
アドニス	25	15.2	74.9	0.86	17.7	14.5	433.8	395.6
けやき有機	25	13.4	53.5	0.61	17.9	14.5	194.9	273.3

けやき有機 アドニス



第5~第3節間長：アドニス > けやき有機
 1次・2次枝梗数：アドニス > けやき有機
 1穂粃数・粃重：アドニス > けやき有機

アドニスの方が幼穂形成期に
 肥料が効いていた

登熟歩合：アドニス > けやき有機

アドニスの方が根が健全に
 保たれていた

2 ペットボトル稲の根



9/29



硫酸反応

2価鉄反応



9/30



ペットボトルの窮屈な空間では
根圏が酸欠になり2価鉄や硫化
水素の影響で根が黒くなる

酸素に触れた根は、鉄が酸化し
て赤くなった

水につかったままでは根が不健全になる

参考図書：東北農業研究センター：お米のよくある質問集：
なぜ、イネは水に浸っていても生長できるのですか？なぜ、他の
植物と違って、水に浸っていても根腐れしないのですか？
https://www.naro.go.jp/laboratory/tarc/rice_faq/growing/025142.html

3 日本桜草の開花促進



2023年8月8日から冷蔵庫で2ヶ月保存



2023年10月10日に鉢上げ



10月20日出芽



11月17日出蕾

2023年12月2日から開花し始めた日本桜草

4 イチゴの開花調節



9月21日



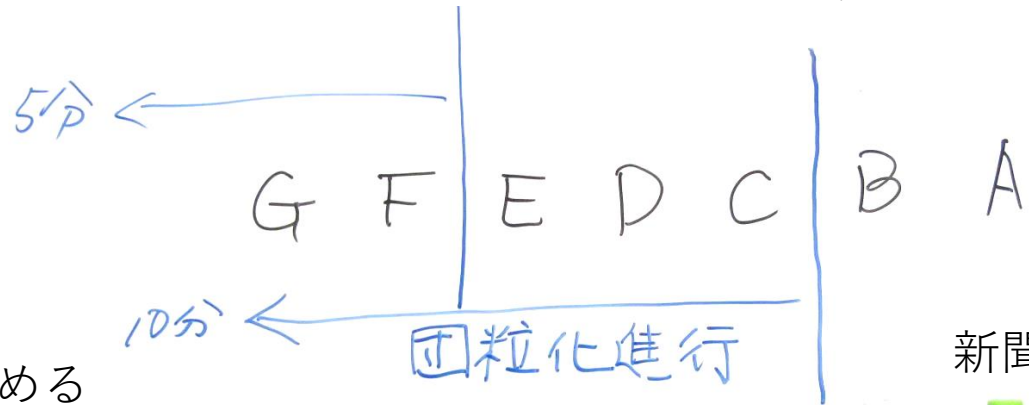
自然の日長（短日条件）下

花が咲いた

11月22日



5 団粒構造を調べる・・・サツマイモテストほ場の比較



新聞の文字が読める

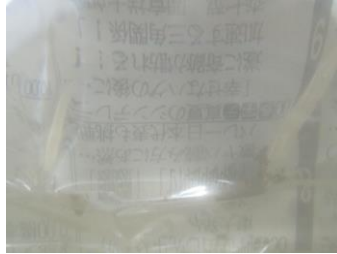
新聞の文字が読めない



5分後

E

G



10分後

B

C



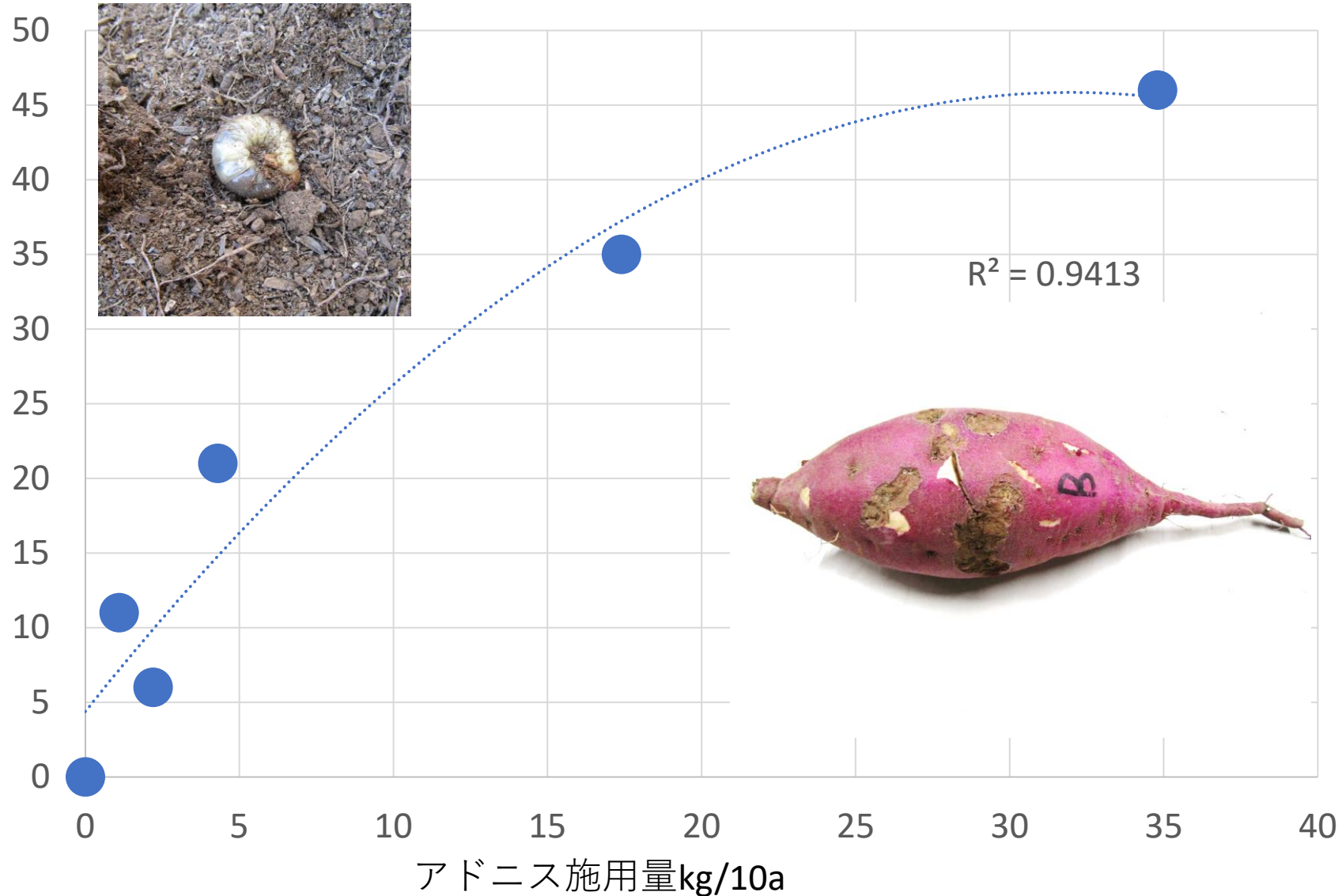
新聞の文字が読める

新聞の文字が読めない

6 未熟有機物とコガネムシ類

未熟有機物が多くなるほど
コガネムシ類の食害数が増えている

4株当たり食害数



7 イソジンで早わかり・・・サツマイモのデンプン→糖化

2023年10月23日



レンジでチン



2023年10月23日



2023年10月23日



常温貯蔵



2023年11月3日



8 シロヘリクチブトカメムシの力



VSハスモンヨトウ



VSダイコンサルハムシ



VSハイマダラノメイガ



VSアオムシ



VSオオウンモンクチバ

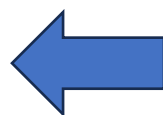
9 天敵の天敵は天敵だ



アブラムシを捕食するヒラタアブ類の幼虫



ヒラタアブ類に寄生するハラアカアブヒメバチ



10 大豆褐斑粒



またしても！ ジャガイモヒゲナガアブラムシがウイルスを媒介

参考図書：ダイズ褐斑粒原因ウイルスの感染時期と褐斑粒発生率、種子伝染率との関係
https://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/seika/kanto20/13/20_13_02.html